Case：407

歩行器を手すり代わりに立たせていたら、ブレーキがかかっておらず転びそうになった

場面の説明

入浴後、歩行器を手すり代わりに頼らせて目を離したところ、ブレーキがかかっていなかったため転倒しそうになった

利用シーン	移動
主な利用場所	浴室・脱衣所
介護保険の種目	歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

入浴後で疲れがあったことも考えられます。立たせたまま髪のケアなどを行うなどのときも同様ですが、たとえブレーキを確認していても歩行器を手すり代わりにすることはやめ、椅子を用意しましょう。やむを得ず立ったままの姿勢でケアをする際には手すりを利用し、また目を離さないなど作業手順を考慮しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：いつもの手順だったので、ブレーキにも特段の注意を払わなかった
環境：脱衣室が狭く、椅子を用意することができなかった
管理：作業手順を検討したことがなかった

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：407

歩行器を手すり代わりに立たせていたら、ブレーキがかかっておらず転びそうになった

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

入浴後、歩行器を手すり代わりに頼らせて目を離したところ、ブレーキがかかっていなかったため転倒しそうになった

どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.